

宮城県の砂防関係事業について



令和5年度 砂防関係事業予算について

令和5年度 防災砂防課所管事業予算

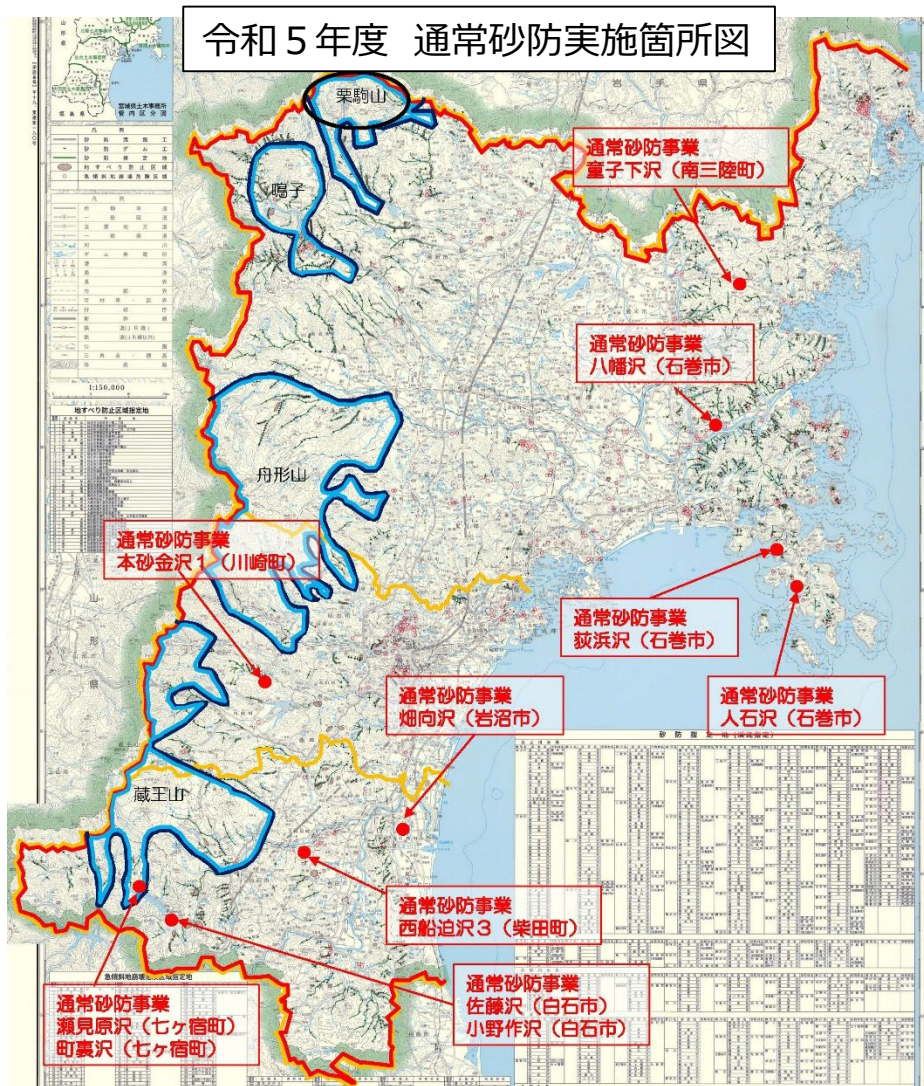
(単位:千円)

区分	分類	費目	事業概要等	令和5年度 実行予算	備考
◇ 砂防関係事業					
補助事業費		砂防激甚災害対策特別緊急事業	令和元年東本台風での土砂災害発生箇所への砂防設備の整備	129,353	
		砂防メンテナンス事業	既存砂防施設の長寿命化対策	555,499	
		通常計		684,852	
		砂防メンテナンス事業	既存砂防施設の長寿命化対策(加速化対策事業)	408,884	
		加速化対策計		408,884	
	補助事業計			1,093,736	
社会資本整備 総合交付金		通常砂防事業	土砂災害のおそれのある箇所への砂防施設の整備	421,575	
		火山砂防事業	蔵王山の噴火対策	354,343	
		火山噴火緊急減災対策事業	栗駒山の噴火対策	33,500	
		情報基盤緊急整備事業	砂防総合情報システム(MIDUKI)の整備	137,445	
		砂防事業調査	土砂災害防止法に基づく基礎調査	1,208,586	
		急傾斜地崩壊対策事業	斜面对策事業	107,104	
		通常計		2,262,553	
		通常砂防事業	土砂災害のおそれのある箇所への砂防施設の整備(加速化対策事業)	502,975	
		火山砂防事業	蔵王山の噴火対策(加速化対策事業)	404,977	
		情報基盤緊急整備事業	砂防総合情報システム(MIDUKI)の整備(加速化対策事業)	132,978	
		総合流域防災事業(砂防)	流域単位での一体的な砂防設備の整備(加速化対策事業)	567,223	
		急傾斜地崩壊対策事業	斜面对策事業	54,350	
		加速化対策計		1,662,502	
	社総交計			3,925,055	
(補助+交付金) 小計				5,018,791	
単 独 事 業 費		建設系事業費	急傾斜地崩壊対策事業(斜面对策事業)等	1,199,286	
		維持系事業費	砂防・地すべり・急傾斜施設の施設点検	899,257	
直轄負担金		特定緊急砂防事業	国直轄事業の宮城県負担	926,667	
その他	砂防総務費	砂防総務費		19,966	
(県単独) 小計				3,045,175	
計				8,063,967	

通常砂防事業

- 砂防堰堤工や溪流保全工を設置することにより、流域の荒廃地域の保全や、土石流等の土砂災害から、下流の人家、耕地、公共施設を保全する事業。
- 令和5年度については、童子下沢（南三陸町）など全11箇所について事業実施中。

令和5年度 通常砂防実施箇所図



R4年度事業完了 南台沢（白石市）



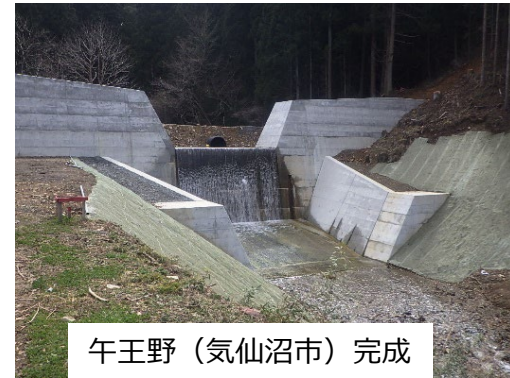
砂防メンテナンス事業

- 古い年代に設置され、現在の技術基準に合致しないものや、老朽化により機能が低下した砂防関係施設（砂防施設・地すべり防止施設・急傾斜地崩壊対策施設）を補修・改築することにより、新たに施設を設けることなく地域における土砂災害等に対する安全性の向上を図る事業。
- 令和5年度については、大森沢第2号堰堤（石巻市）など計16箇所の砂防堰堤について事業を実施。

令和5年度 砂防メンテナンス事業 実施箇所図



午王野（気仙沼市）着手前



午王野（気仙沼市）完成



小福地（石巻市）着手前

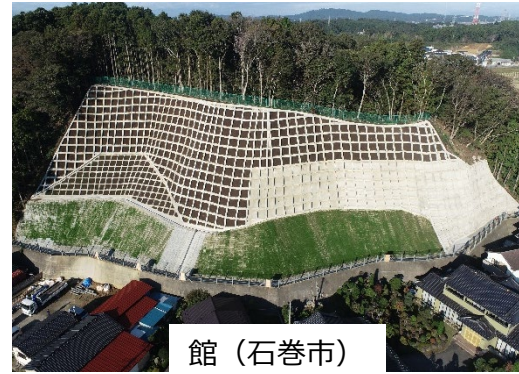
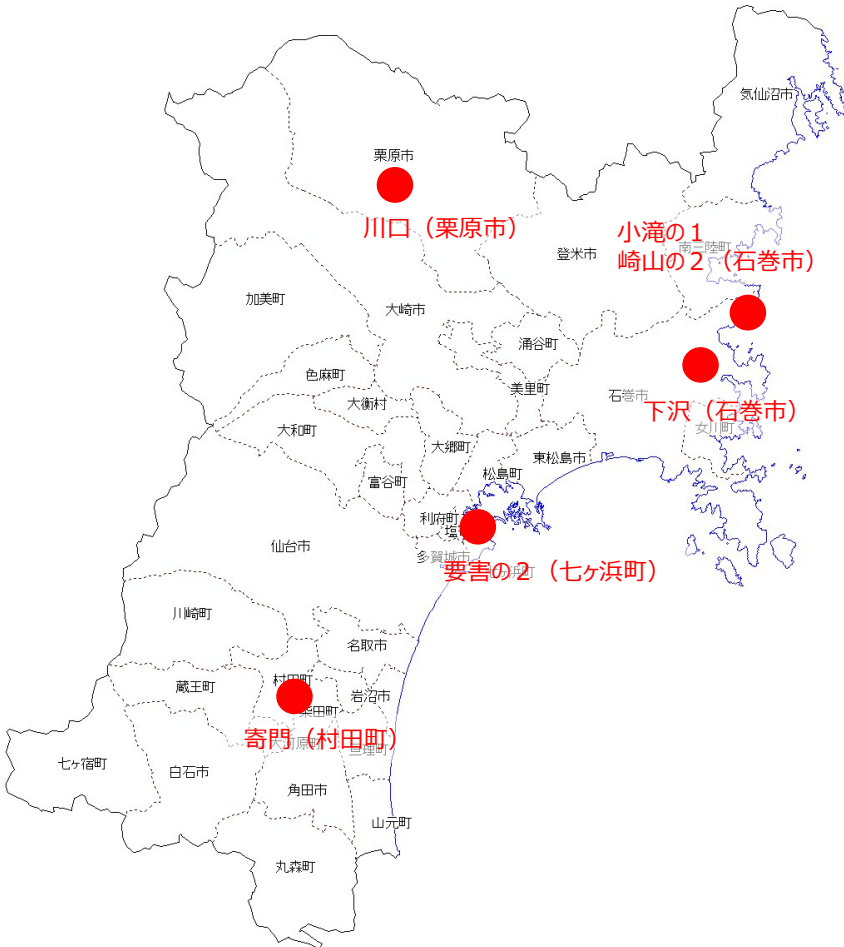


小福地（石巻市）完成



急傾斜地崩壊対策事業

- 急傾斜地崩壊危険区域内の自然崖に対して、急傾斜地の所有者が崩壊防止工事を行うことが困難又は不適當な場合に、崩壊防止施設を整備し、人家や公共施設等を保全する事業。
- 令和5年度は、国の交付金事業として川口（栗原市）、県単独事業として寄門（村田町）など計6箇所の事業を実施。



火山噴火対策

- 宮城県内の火山地域は、**蔵王山**、**栗駒山**、**鳴子**、**舟形山**の4地域。
- 宮城県では、蔵王山と栗駒山について、関係機関と「防災協議会」を設置し、「火山噴火緊急減災対策砂防計画」及びその実行計画である「火山噴火対策砂防計画」を策定のうえ、噴火時の減災対策を実施している。

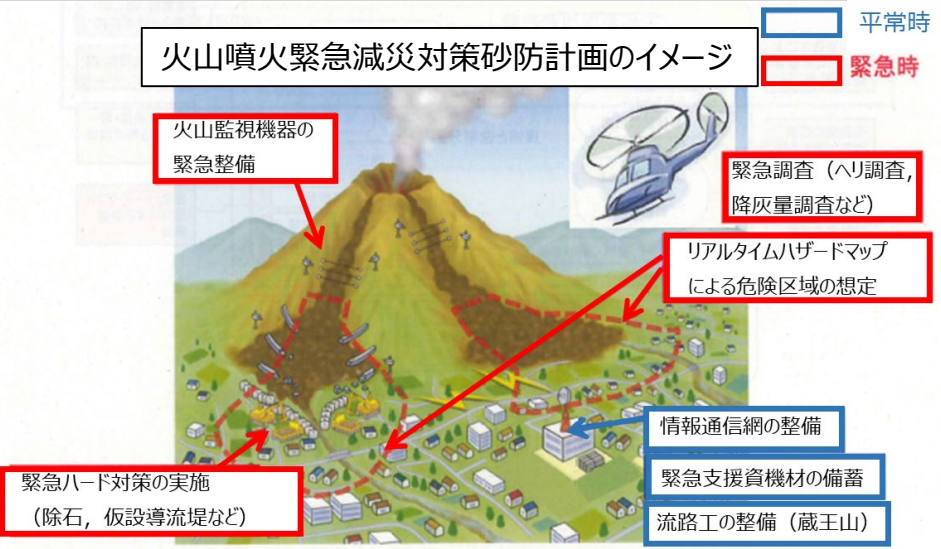
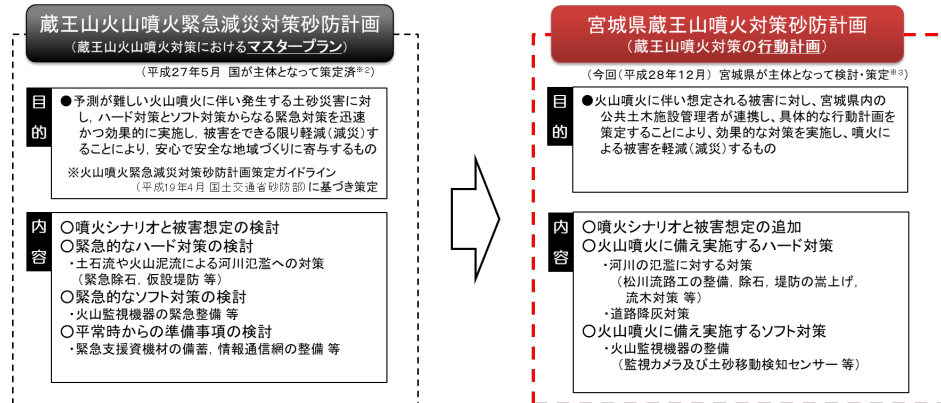
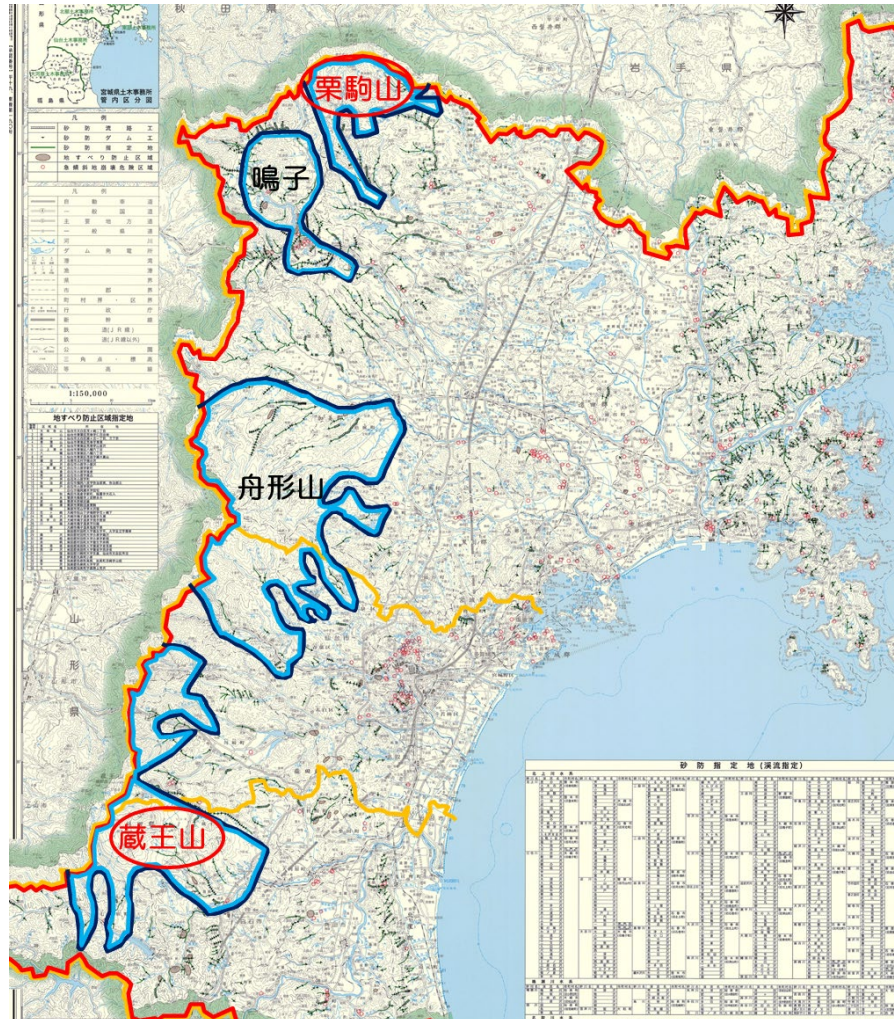


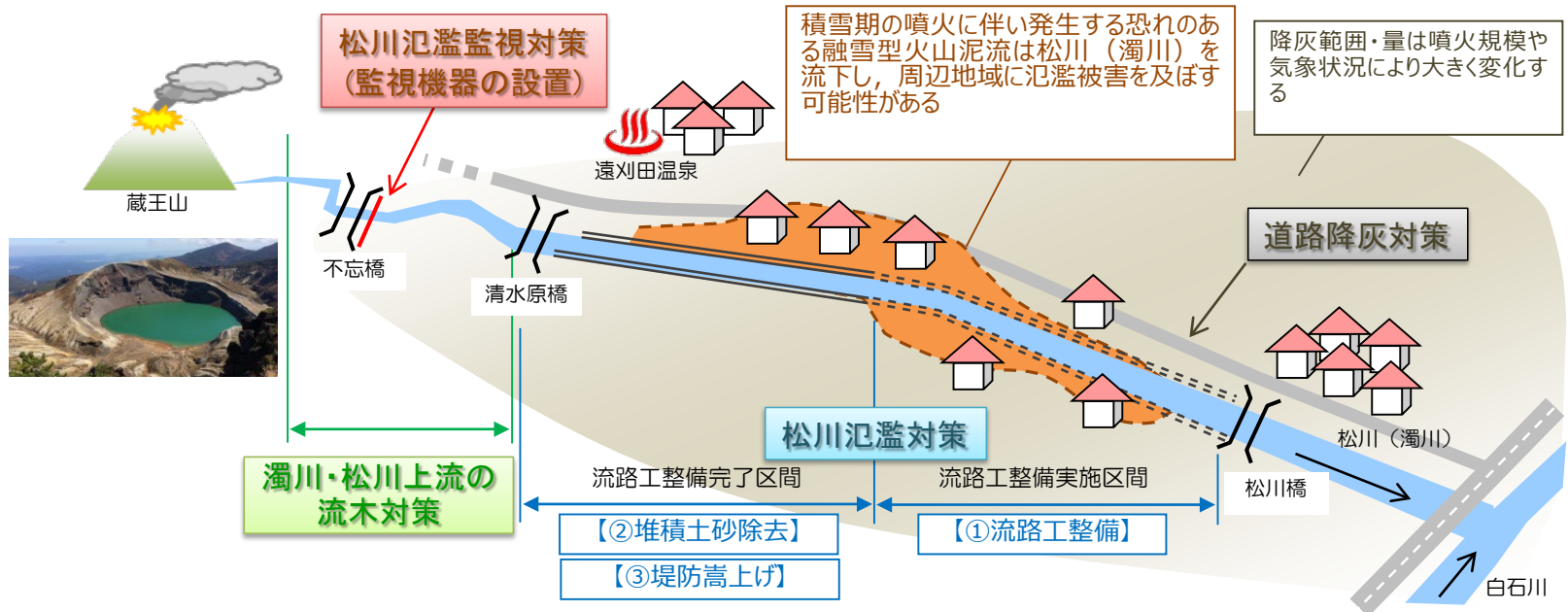
図 1-3 火山噴火緊急減災対策砂防計画のイメージ

蔵王山の火山噴火対策について

蔵王山火山噴火対策砂防計画

○平成27年5月に国が策定した「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」に基づき、宮城県が主体となり、県内の公共土木施設管理者（※）が連携して効果的な対策を実施していくことで、噴火による被害を軽減（減災）することを目的とした「宮城県蔵王山噴火対策砂防計画」を平成28年12月に策定。※ 構成機関：東北地方整備局，東北森林管理局，白石市，蔵王町，川崎町，七ヶ宿町，宮城県

○本計画に基づき、「松川氾濫対策」、「松川氾濫監視対策（監視機器の設置）」、「濁川・松川上流の流木対策」、「道路降灰対策」の4つの対策について、関係機関と連携しながら実施していきます。



【宮城県蔵王山噴火対策砂防計画の対策イメージ】

※宮城県蔵王山噴火対策砂防計画の概要 (<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/608653.pdf>)

土砂災害防止法に基づく基礎調査

1 宮城県内における土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害に対するソフト対策（住民への土砂災害の危険の周知）を進めるため、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域(以下「土砂災害警戒区域等」という)の指定を推進しています。令和4年度末までに、**8,313区域の土砂災害警戒区域等の指定**しました。

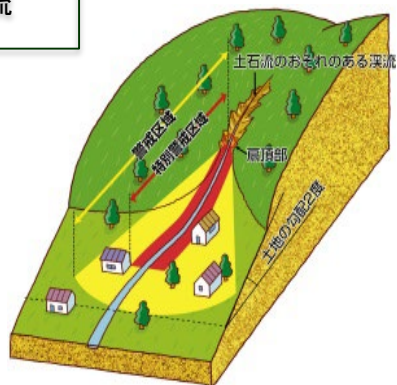
令和5年度も引き続き、土砂災害のおそれのある箇所の調査及び区域指定を進めるとともに、既に指定済み箇所について、法に定められた概ね5年毎の見直し調査（開発による地形改変の有無の確認）を進めていきます。

2 土砂災害防止対策基本指針の一部改正を受けた動き

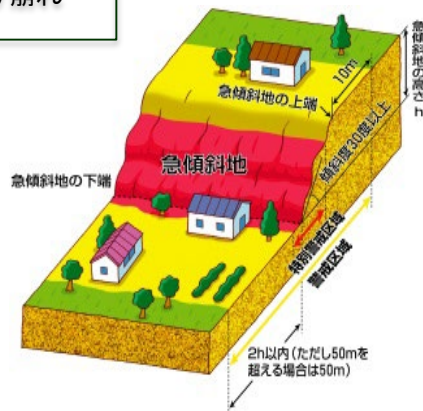
近年の激甚化・頻発化する土砂災害に対応するため、R2年8月に「土砂災害防止対策基本指針の変更」の改正されました。これにより、基礎調査の「高精度化」が追加され、従来よりも高精度な地形情報に基づく基礎調査が義務付けられました。

宮城県では現在、国の指針に基づく調査箇所の抽出・事業計画の立案を行っており、今後より適切な土砂災害警戒区域等の調査・指定を進めていきます。

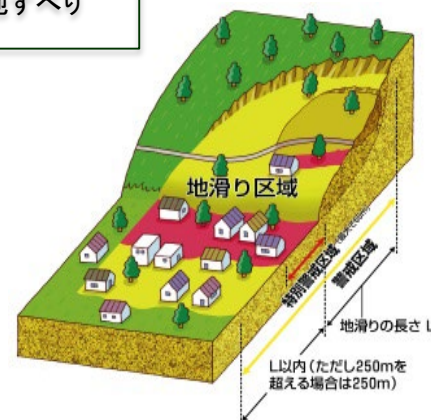
土石流

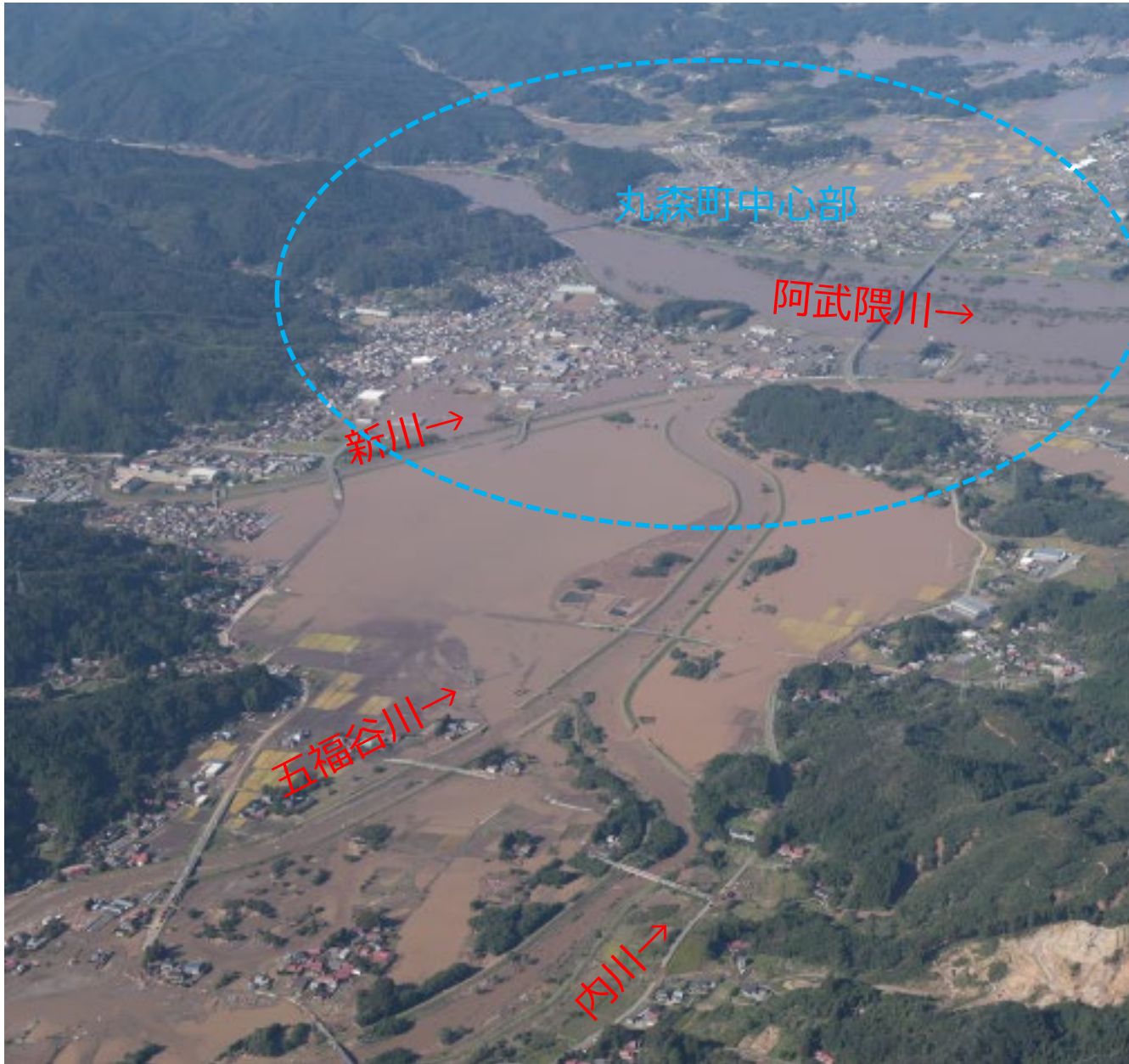


がけ崩れ



地すべり





宮城県の被災状況 災害査定結果

(1) 人的被害

死者 : 19名
 行方不明者 : 2名
 重傷 : 8名
 軽傷 : 35名

(2) 住宅被害

全壊 : 304棟
 半壊 : 2,974棟
 一部破損 : 2,718棟
 床上浸水 : 1,587棟
 床下浸水 : 12,300棟

(3) 令和元年東日本台風に係る災害査定結果

(単位：百万円)

工種	県所管分		市町村所管分 (仙台市除く)		合計	
	件数	査定決定額 (百万円)	件数	査定決定額 (百万円)	件数	査定決定額 (百万円)
道路	164	6,178	602	8,348	766	14,526
橋梁	1	52	9	551	10	603
河川	535	13,673	422	7,549	957	21,222
砂防	9	243			9	243
下水道	3	174	21	1,102	24	1,276
公園	4	68	15	3,097	19	3,165
港湾	5	139			5	139
合計	721	20,527	1,069	20,647	1,790	41,174

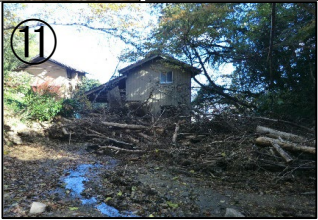
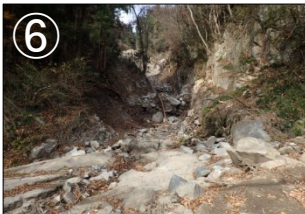
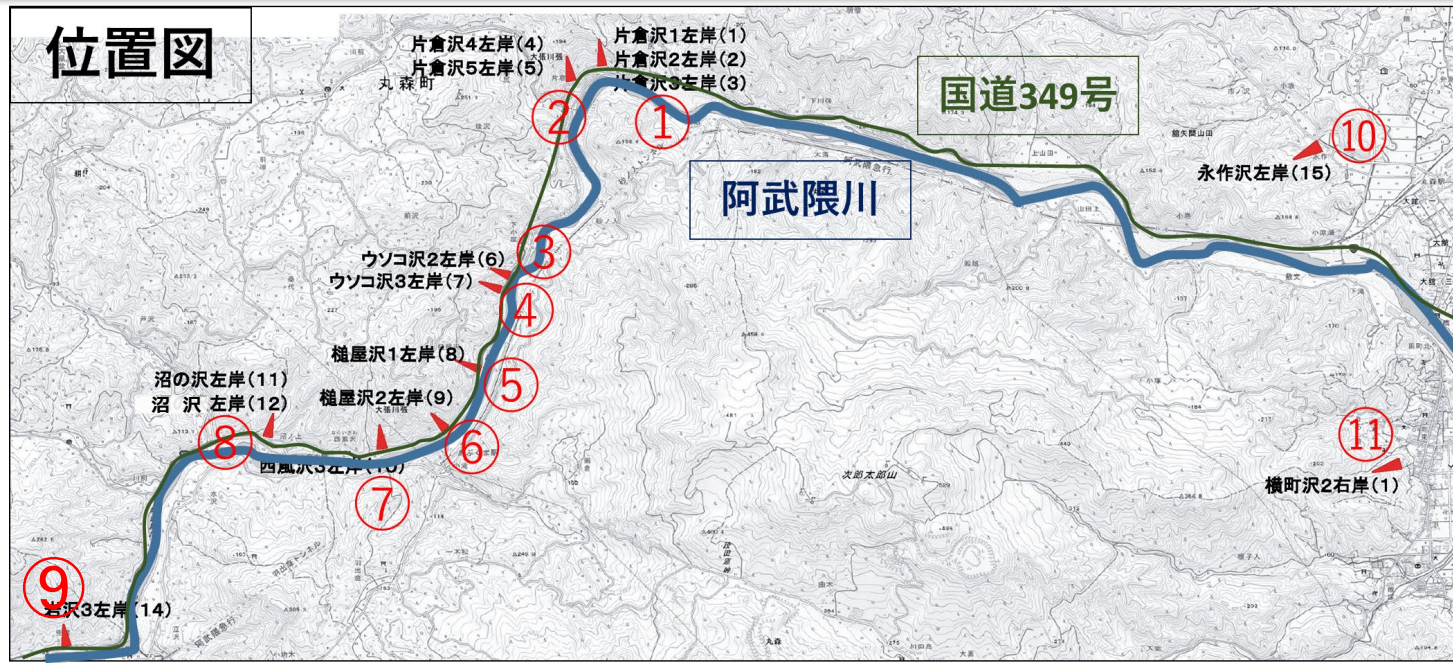
※河川（県）には、ダムを含む。下水道（県）は、企業局所管分。

全体件数 1,790件 , 総額 約 410億円の査定決定

災害箇所



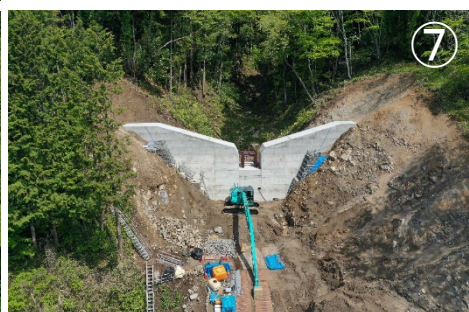
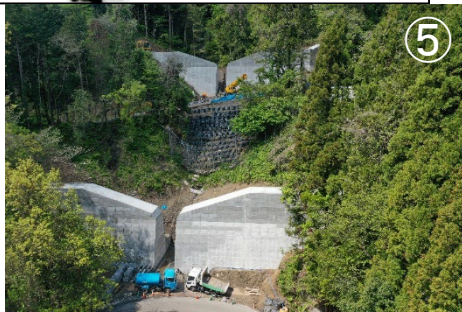
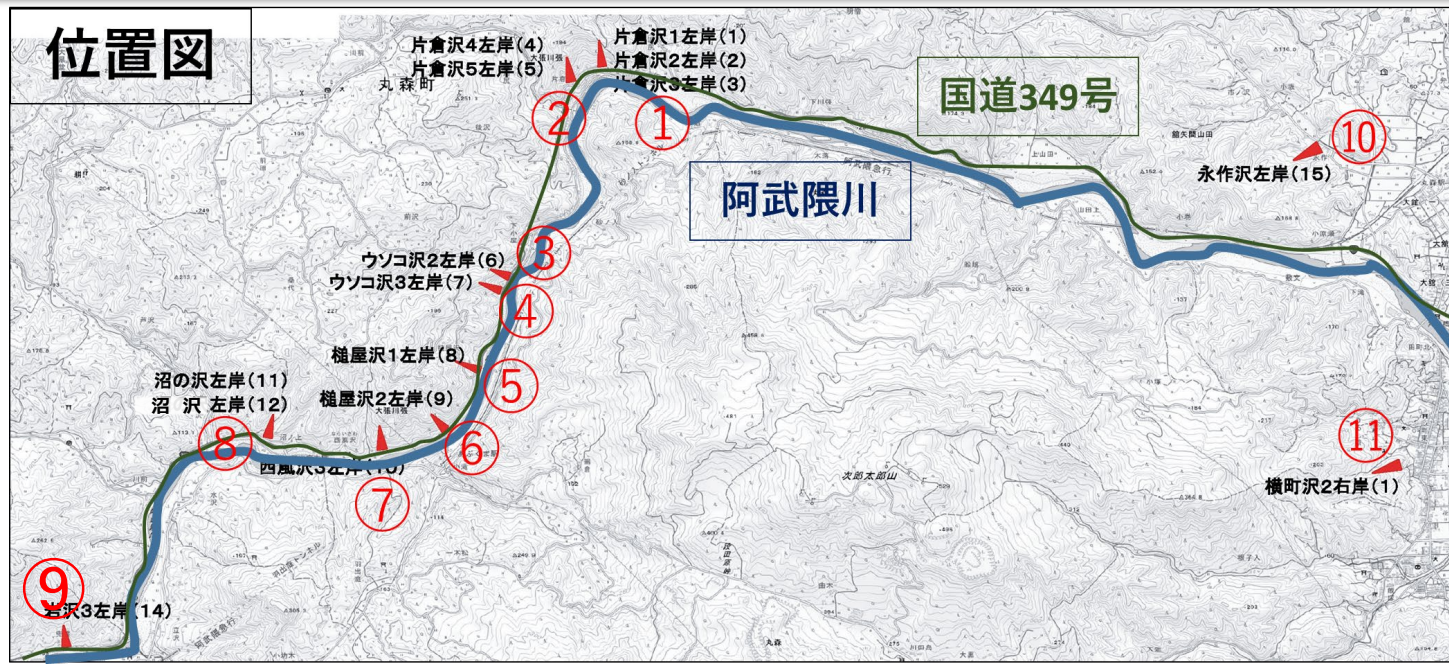
位置図



災害箇所



位置図



ご静聴ありがとうございました。

